

令和6年7月8日	
所 属	こども青少年課
所属長	浅田 崇之
電 話	06-6423-9996

現場を支える！教育データの活用術 「尼崎市学びと育ち研究所報告会～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～」

尼崎市は、「第7回尼崎市学びと育ち研究所報告会～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～」を開催します。

「尼崎市学びと育ち研究所」では、子ども一人ひとりの状況に応じ、実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう、外部の研究者を招き、中長期的な効果測定を通じた科学的根拠（エビデンス）に基づく先進的研究を行っています。

報告会では、研究員による研究報告とともに、OECD（経済協力開発機構）日本政府代表部（文部科学省より派遣中）の大根田氏をゲストに迎え、尼崎市学びと育ち研究所長と対談を行います。

1 日時

令和6年8月26日（月）午前10時から正午まで

2 開催方法

YouTube「尼崎市学びと育ち研究所」チャンネルでオンライン配信
後日、アーカイブを視聴することもできます。

URL : <https://www.youtube.com/@user-mk5jp6xq2s>



3 内容

(1) 研究報告

- ア 大竹 文雄 所長（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授）
「教育環境が学力に与える影響」
- イ 安藤 道人 主席研究員（立教大学 経済学部 教授）
「子どもを対象とした行政・教育サービスの利用実態・政策効果の検証」
- ウ 北野 幸子 主席研究員（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授）
「非認知的能力の育ちを捉え育む乳幼児教育・接続期教育の開発」
- エ 中尾 繁樹 主席研究員（関西国際大学 教育学部 教授）
「学習や学校生活における困難を改善する指導に関する実践研究」
- オ 永瀬 裕朗 主席研究員（神戸大学大学院 医学研究科 特命教授）
「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」
- カ 野口 緑 主席研究員（大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授）
「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」
- キ 濱島 淑恵 主席研究員（大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授）
「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」
- ク 藤澤 啓子 主席研究員（慶應義塾大学 文学部 教授）
「就学前教育の質が就学後の学力や健康に与える影響」

(2) 対談

テーマ：「現場を支える！教育データの活用について」

大竹 文雄 所長（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授）

大根田 頼尚氏（OECD（経済協力開発機構）日本政府代表部一等書記官）（以 上）

学びと育ち研究所報告会

2024年8月26日（月） 10:00～12:00@WEB

学びと育ち研究所YouTubeでご覧ください！

第1部 研究発表

■大竹 文雄 所長

（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授）

「教育環境が学力に与える影響」

■安藤 道人 主席研究員

（立教大学 経済学部 教授）

「子どもを対象とした行政・教育サービスの利用実態・政策効果の検証」

■北野 幸子 主席研究員

（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授）

「非認知的能力の育ちを捉え育む乳幼児教育・接続期教育の開発」

■中尾 繁樹 主席研究員

（関西国際大学 教育学部 教授）

「学習や学校生活における困難を改善する指導に関する実践研究」

■永瀬 裕朗 主席研究員

（神戸大学大学院 医学研究科 特命教授）

「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」

■野口 緑 主席研究員

（大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授）

「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」

■濱島 淑恵 主席研究員

（大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授）

「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」

■藤澤 啓子 主席研究員

（慶應義塾大学 文学部 教授）

「就学前教育の質が就学後の学力や健康に与える影響」

第2部 対談

現場を支える！
教育データの
活用について



大根田 頼尚 氏

OECD(経済協力開発機構)
日本政府代表部
一等書記官
(文部科学省より派遣中)

from paris



学びと育ち研究所
大竹 文雄 所長



尼崎市学びと育ち研究所（尼崎市こども青少年課）

